

子宮頸癌に対する CT を用いた 3 次元画像誘導腔内照射： 3D-Image-guided brachytherapy(3D-IGBT)にお ける DVH パラメータと治療成績及び有害事象発生との関連 に関する研究

1. 研究の対象

平成 23 年 11 月から平成 26 年 6 月の期間に、子宮頸癌の CT を用いた腔内照射を受けられた方

2. 研究目的・方法

子宮頸癌に対する CT を用いた 3D-IGBT における各種 DVH パラメータ（D90@CT-based HR-CTV, D2cc@OARs）と治療成績および有害事象発生との関連を解析し検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテより以下の臨床データを収集する。

1. 臨床情報

年齢、臨床病期、病理組織型、治療前 SCC 値、最終観察日、最終観察日における転帰、再発有無・部位・発生日、有害事象有無・Grade・発生日（直腸、S 状結腸、小腸、膀胱）、カルテ番号等

1. 画像情報
2. MRI（腫瘍径…治療前・中、体部浸潤有無）、CT/MRI（骨盤リンパ節転移有無・部位・大きさ）
3. 治療情報
4. 化学療法併用有無・併用薬剤、治療開始日、外部照射の照射野、線量（中央遮蔽なし、あり）、BOOST 有無・部位、総治療期間、腔内照射アプリケーション、IGBT A 点線量（1 回、合計）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

琉球大学大学院医学研究科放射線診断治療学 客員教授 戸板孝文（研究責任者）

連絡先（電話）：098-895-3331（内 2401）